

ごあいさつ

GREETING



船橋市バスケットボール協会
会長

鈴木 武司

TOMAS CUP 2019 第8回船橋ミニバスケットボール大会が開催できますことに感謝申し上げます。

船橋市におけるミニバスケットボールは昭和48年にはじめて大会を開催して以来、県内はもとより関東、全国にそのレベルの高さを実証してきました。また、昭和51年の全国ミニバスケットボール教室交歓大会、昭和60年及び平成19年の全国ミニバスケットボール大会などの大会開催地として組織的にも充実した市であります。このような多年にわたる関係者のご尽力によりミニバスケットボール競技の普及は目覚ましいものがあります。さらに、B.LEAGUE (Bリーグ)、「千葉ジェッツふなばし」のホームタウンとして船橋市のバスケット熱は益々高まっております。

日本のバスケットボール界も、男子の21年ぶりの自力W杯出場、八村選手の日本人初のNBAドラフト指名、女子のアジアカップ4連覇。そして男女共に2020年の東京オリンピック出場に向けて大きな盛り上がりを見せております。将来を担う皆さんの成長と活躍にも大きな期待が寄せられています。

今大会に参加された皆さんは、この機会に日頃練習で身につけた力と技を十分に発揮され、立派なマナーで正々堂々と元気一杯のプレーをしていただけることを期待しています。また、集まったチームの友達と友情の輪を大きく広げ、今後もバスケットボールに情熱を燃やし続けていけるようがんばってください。

チームの指導者や保護者の皆様方には、平素からバスケットボールに深いご理解をいただき、子どもたちにスポーツをすることの素晴らしさを与えていただき誠にありがとうございます。今後尚一層のご支援とご協力をたまわりますようお願いいたします。

終わりに、本大会の開催に当り、ご尽力いただきました関係各位及びに多大なご支援をいただきました関係の皆様方に深く感謝を申し上げますと共に、この大会が無事成功に終わりますことをお祈りしましてご挨拶といたします。



株式会社リソー教育
代表取締役社長

平野 滋紀

選手の皆さん、こんにちは。私たちリソー教育グループは、船橋のミニバスケットボール大会を「TOMAS CUP」という形で応援し、今年で8回目を迎えます。6年生の皆さんにとっては小学校生活で最後ともいえるこの大会を、毎年このような形で応援することができ、とても嬉しく、また誇りに思います。

選手の皆さんは、この大会参加にいたるまでの練習、トレーニングを通じて、バスケット技術の上達や体力の向上だけでなく、これから生きていくうえでとても大切なフェアプレーの精神やスポーツマンシップをたくさん学んできたことでしょう。この大会を通じて、皆さんがさらに心豊かな人間として成長することを願って止みません。そして、皆さんが成長し、今後様々な舞台で活躍することで、この大会がさらに伝統あるものに成長していくのだと確信しています。

私たちリソー教育グループは、学習塾の会社ですが「勉強プラスワン」という教育理念を掲げています。勉強ももちろん大切ですが、習い事やスポーツに打ち込むことも同じように大切です。自分の好きなことに打ち込むなかで、豊かな情操を育み、「生きる力、生き抜く力」が養われるのだと思います。リソー教育グループは、少しでもその助けになりたいという思いで、これからもスポーツ・芸術・文化支援活動を始めとする社会貢献活動に取り組んでまいります。

ワールドカップでは、男子日本代表の活躍に多くの注目が集まりました。バスケットボール界においても、日本の選手が世界で活躍するということが夢ではなくなってきているなか、今日の一瞬一瞬が皆さんの未来へとつながっています。まずは皆さんのチームの勝利のために、最後の1秒まであきらめることなく、ボールを追い続けゴールを目指してください。選手の皆さん一人ひとりが周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、全力で悔いのないプレーができるよう、心から祈っています。